

高齢馬の臨床

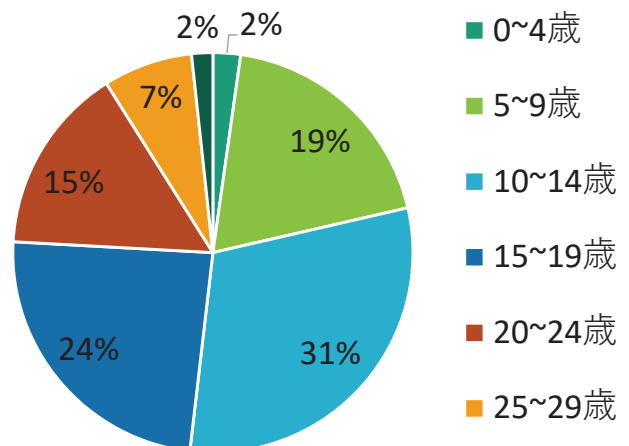
大和高原動物診療所
関 希実

高齢馬

老年医学における高齢の定義

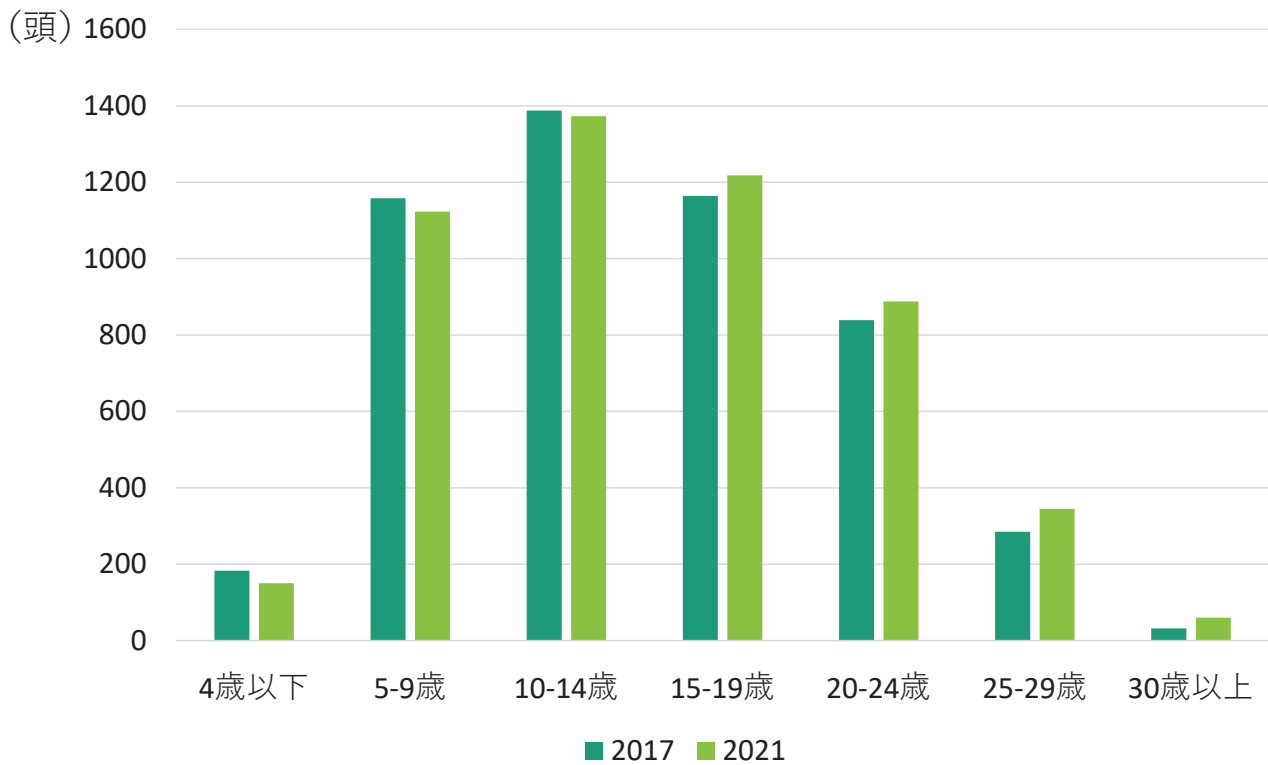
▶種の平均寿命の75-80%

馬の平均寿命：25歳
高齢馬：20歳以上？



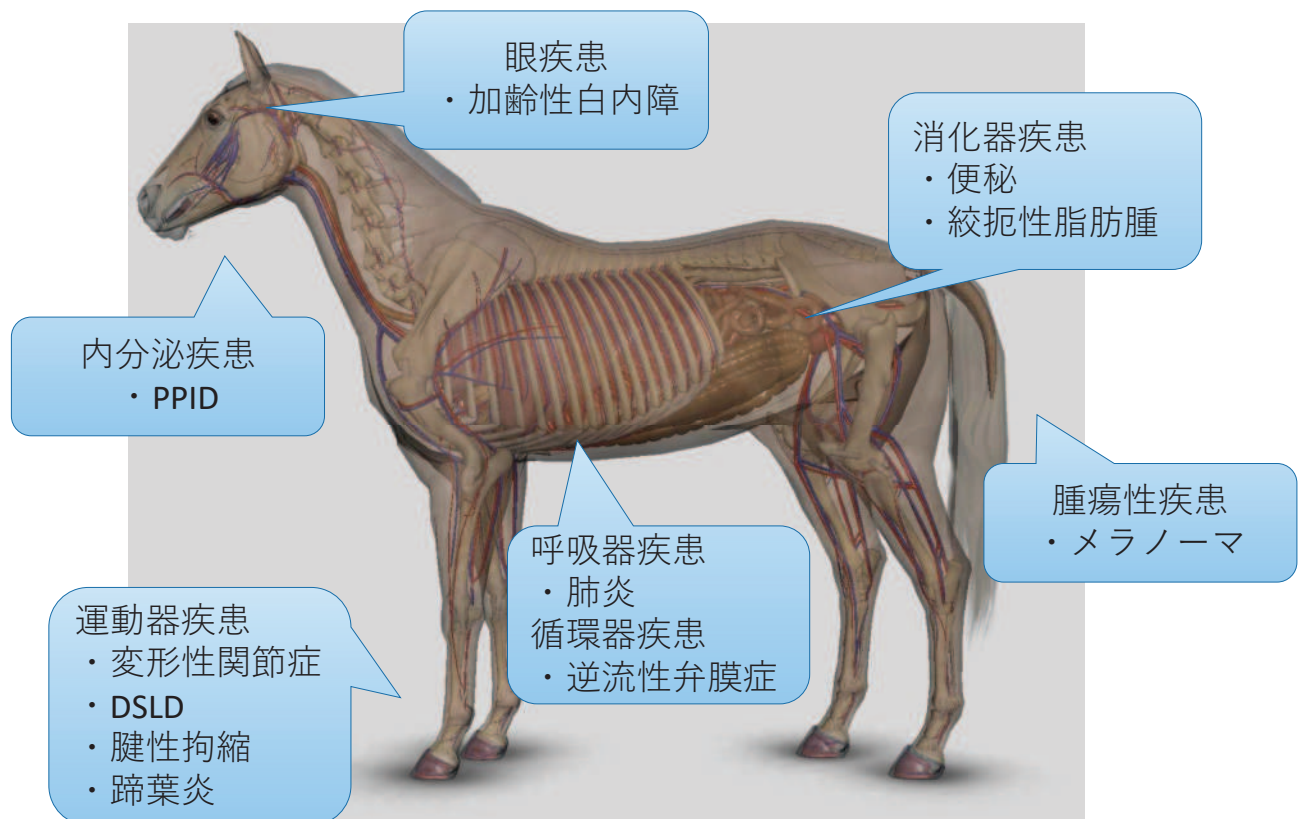
実際に臨床的に問題が多くなるのは15歳以上？

乗用馬の年齢推移



(全国乗馬倶楽部振興協会の登録馬匹)

高齢馬の疾患



疾患？加齢性変化？



疾患？加齢性変化？

変形性関節症

→サプリメント・ヒアルロン酸等での治療管理

DSL D

繋靱帯の破綻による球節の過伸展

→装蹄療法

加齢性白内障

水晶体の混濁



PPID

加齢性変化

視床下部におけるドーパミン作動性神経の変性

下垂体中葉機能不全（PPID）によりACTHが上昇

▶多毛症



(Nicola Jarvis, 2021)

- ▶活動性低下
- ▶筋萎縮
- ▶多飲多尿
- ▶繁殖障害
- ▶腱・靭帯の弛緩

▶易感染性



▶蹄葉炎



PPIDとは

視床下部におけるドーパミン作動性神経の変性



下垂体中葉機能不全（PPID）によりACTHが上昇

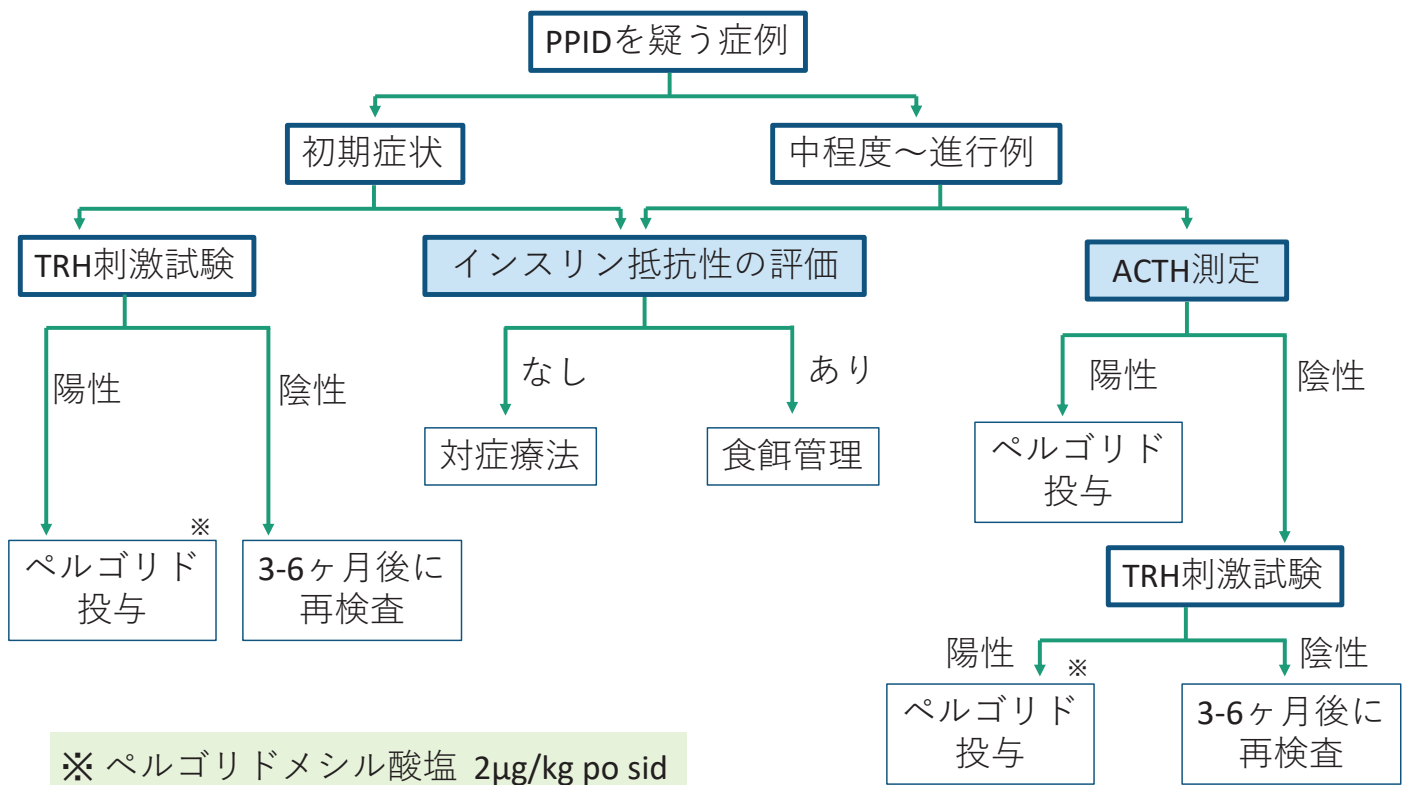
【初期症状】

- ・活動性の低下
- ・多毛症（局所的）
- ・トップラインの筋肉減少
- ・発汗の増加/減少
- ・繁殖障害
- ・靭帯炎、腱炎
- ・局所脂肪蓄積
- ・蹄葉炎

【進行例での症状】

- ・運動不耐性
- ・多毛症（全身）
- ・筋萎縮
- ・腹部膨満
- ・多飲多食
- ・易感染性
- ・繁殖障害
- ・腱、繋靭帯の弛緩
- ・蹄葉炎

診断・治療



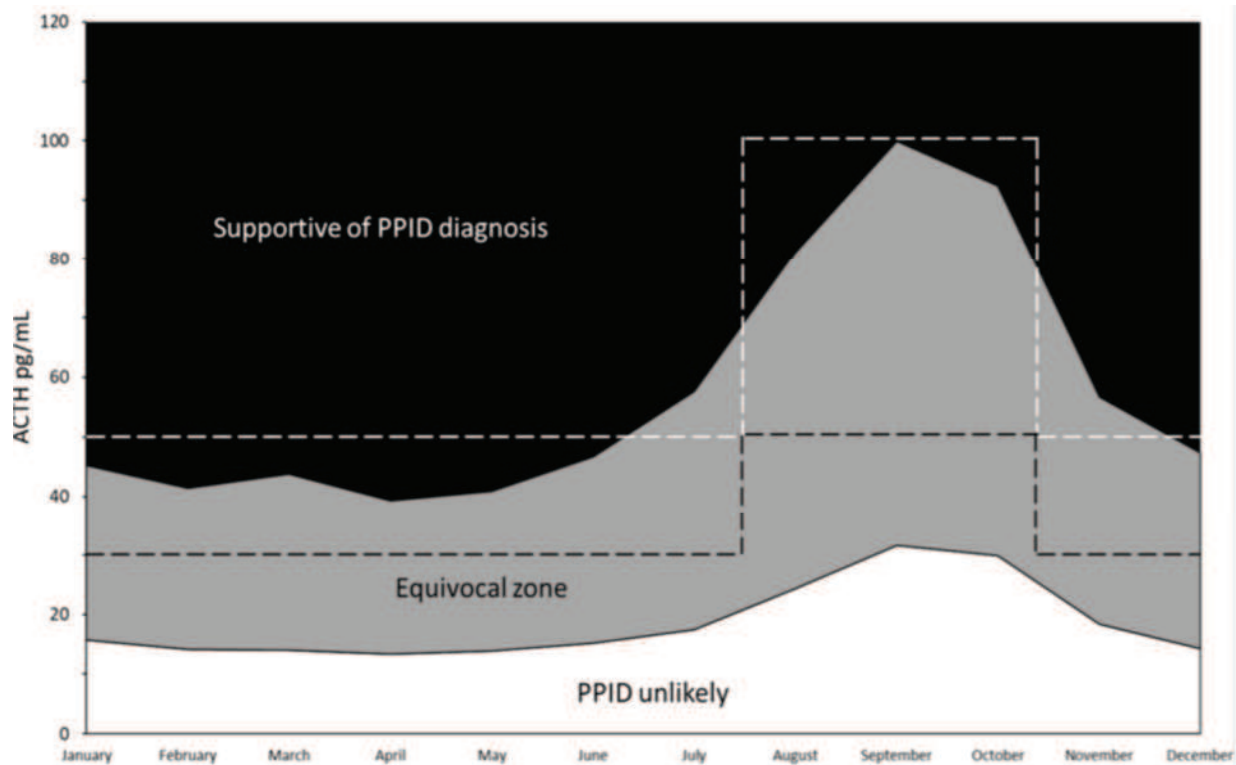
(Equine Endocrinology Group 2019)

血漿ACTH濃度

Seasonal interpretation of results* (Also refer to Figures 4 and 5)		PPID unlikely	Equivocal* <i>Requires strong clinical signs, re-testing, or TRH stim to confirm diagnosis</i>	PPID likely
Baseline ACTH or TRH time 0 (pg/ml) *see important note below	Dec - Jun	< 15*	15 - 40*	> 40
	Jul & Nov	< 15*	15 - 50*	> 50
	Aug	< 20*	20 - 75*	> 75
	Sept-Oct	< 30*	30-90*	> 90

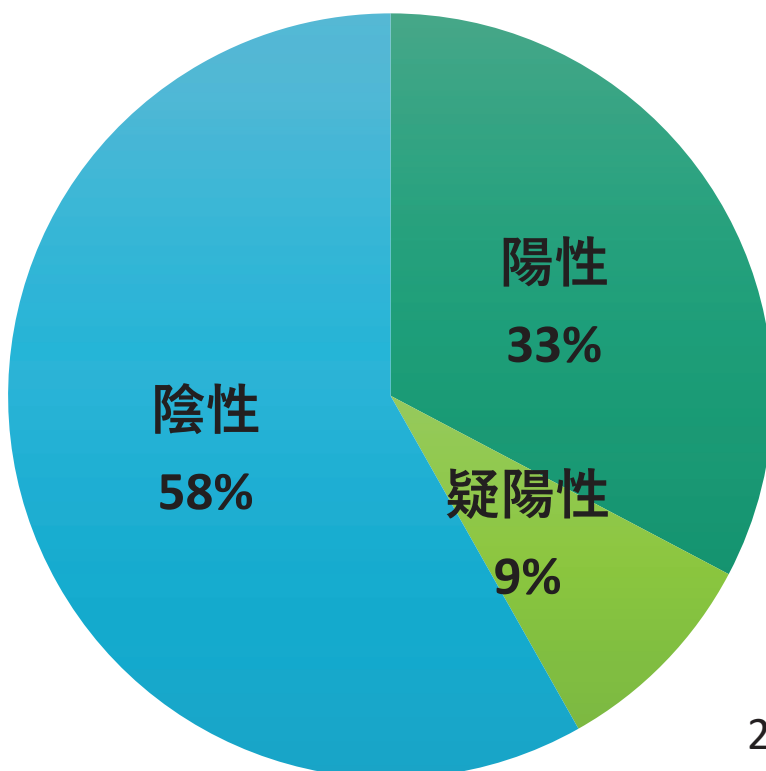
(Equine Endocrinology Group 2021)

ACTH濃度の季節変動



(Equine Endocrinology Group 2021)

血漿ACTH濃度測定結果



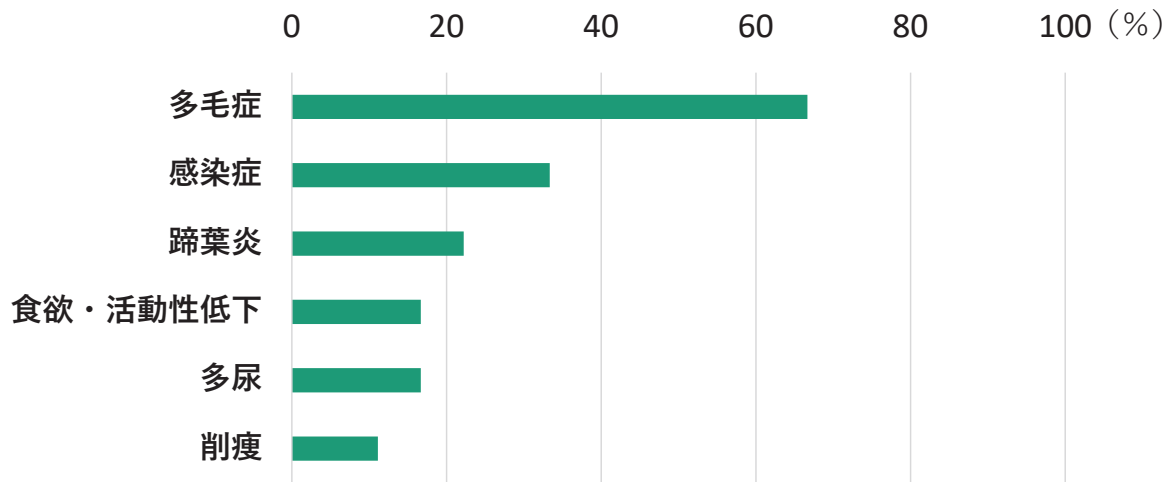
測定理由

- ・ 多毛症
- ・ 蹄葉炎
- ・ 多飲多尿
- ・ 活動性の低下 など

2017-2022年、計55頭

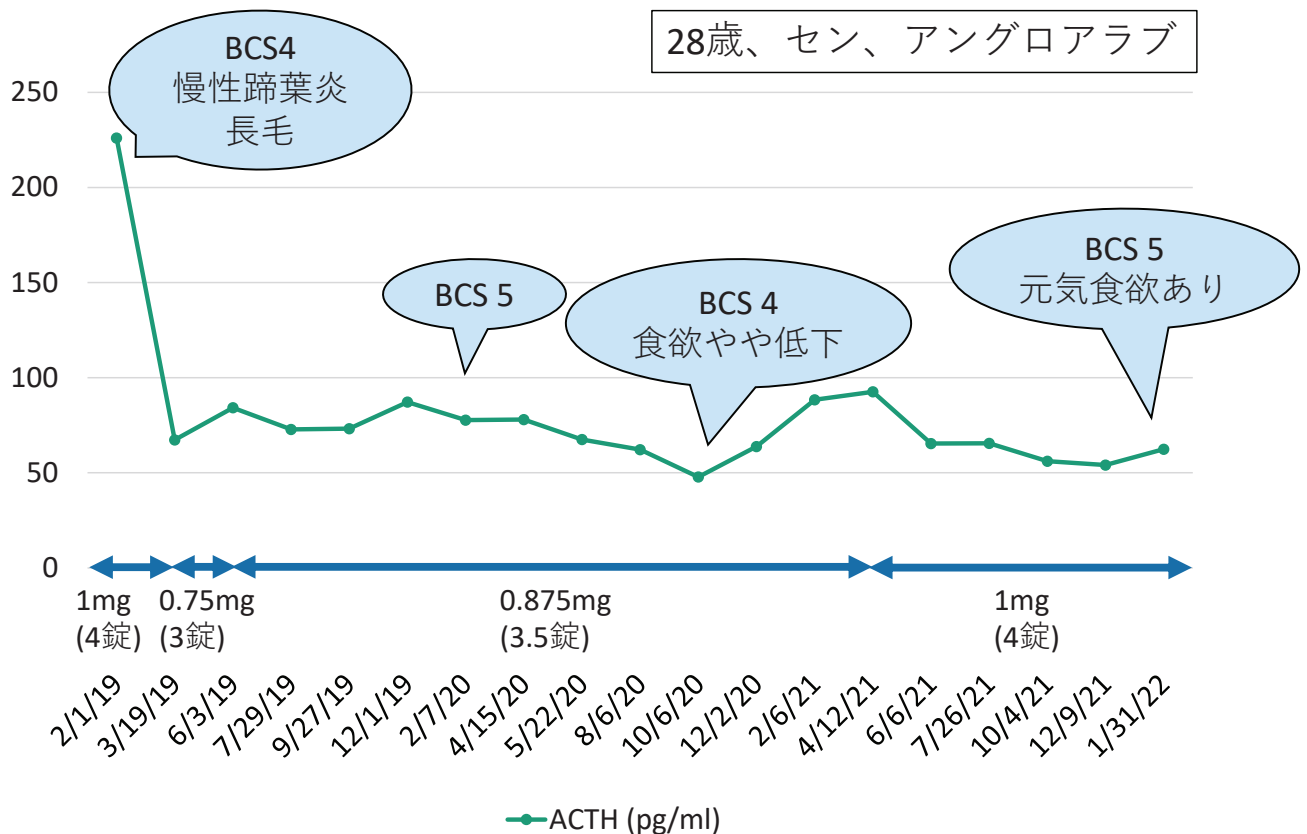
症状

PPID陽性馬に認められた症状



- ・ PPID陽性馬：平均年齢25.6歳（15-30歳）
→ 22%が無症状 or 感染症のみ

症例 1



症例 2

20歳、セン、サラブレッド



2021/9/7

11/11 検査時 ACTH 386 pg/ml のため
ペルゴリド 1mg (4錠) po sid にて投薬開始



2022/1/22

12/30 ACTH 60 pg/ml に改善
ペルゴリド 0.75mg (3錠)に変更

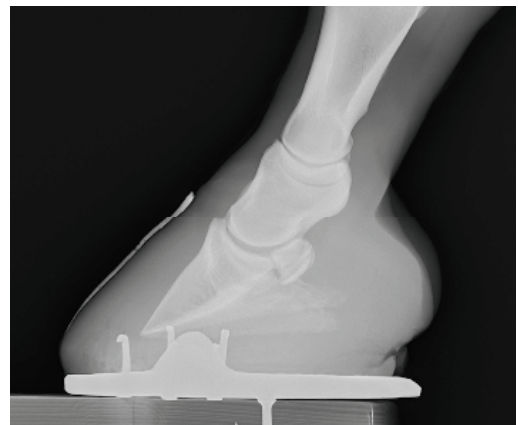
症例 3

23歳、牝、サラブレッド



初診 2018/7/6

ACTH	131.7 pg/ml
Insulin	129.3 μ U/ml
Glu	93 mg dl



再診 2018/8/12

ACTH	108.4 pg/ml
Insulin	24.1 μ U/ml
Glu	92 mg dl

症例 4

23歳、牡、中半血



初診 2021/10/1



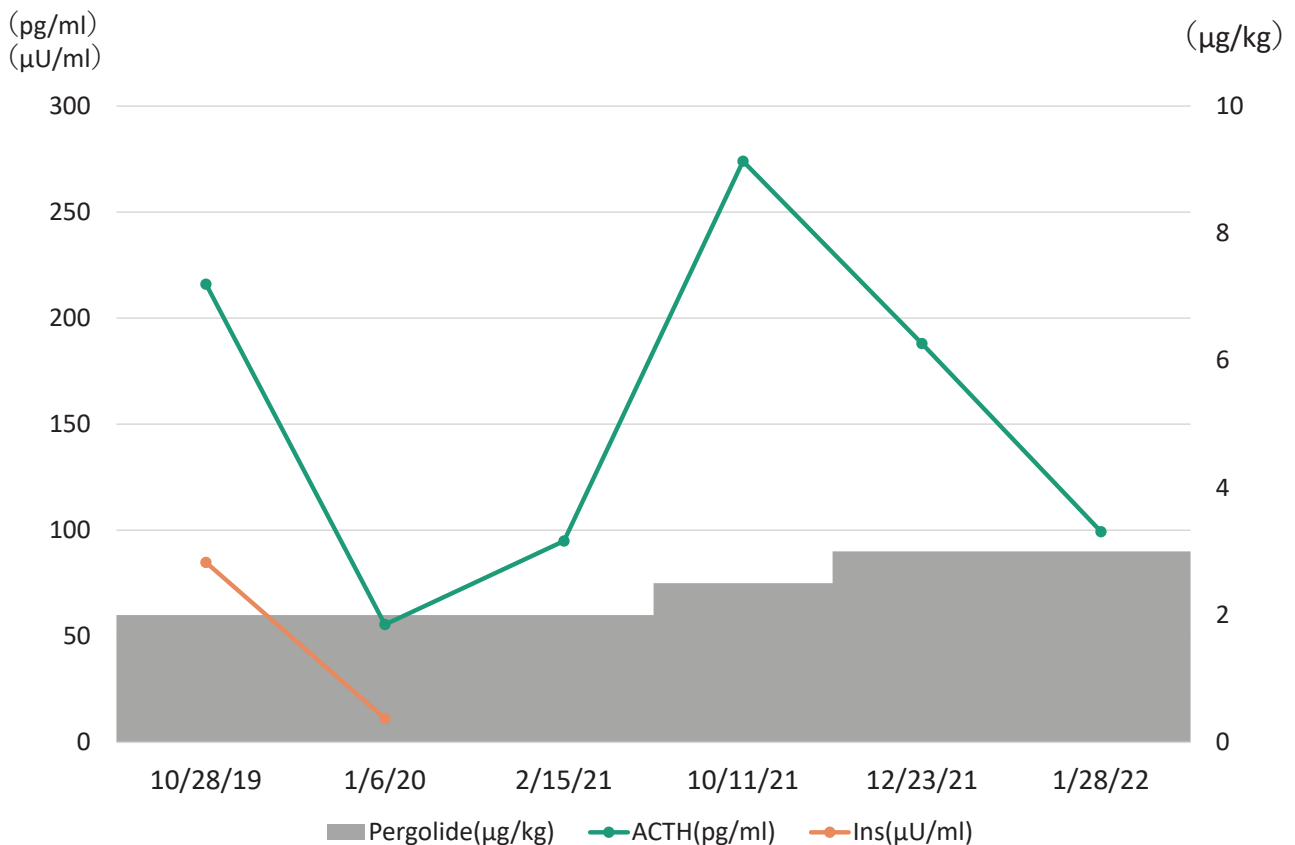
再診 2021/10/25

状態安定せず再診時にPPID検査実施

もっと早い段階でPPIDの治療ができていれば
進行を止められた？

ACTH	524 pg/ml
Insulin	46.7 μ U/ml
Glu	170 mg dl

長期投薬経過 2



まとめ

✓ PPID

- 高齢馬診療の中では客観的な診断が可能
- 様々な他の疾患の予防・治療に繋がる

検査・治療の適切なタイミングは？

✓ 高齢馬の管理

- 高齢馬に多い疾患・治療の知識の必要性
- 予防・QOL向上のための管理